

# ひろば 大代

No. 5 3 5

令和6年2月号

大田市の人口  
(R6. 2. 1 現在)  
大田市 32, 195 人  
内大代町 294 人  
男 135 人  
女 159 人



## 節分の思い出

石清水八幡宮 藤田薫郷

節分と聞くと「豆まき」や「恵方巻」を連想しますが、節分とは季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日を指します。なかでも二十四節季では春が一年の始まりであることから、「立春」に先立って、長い冬から解放され、温かい春が来るこの季節の変わり目に、「一陽来福」を祈るという考えから、悪しきものを祓う行事で、立春の前日である春の「節分」が重要視されました。節分に豆まきが行われるようになったのも、本来は大晦日（12月31日）に鬼を追い祓い、一年の無事を祈る行事（追儺）が節分と一緒に行われるようになったためといわれています。豆まきで用いられる大豆は、邪気を祓う効果がある穀物ということから用いられています。

神、歳徳神がおられるとされています。その年の恵方を向いて願を心の中で唱えながら無言で食べる恵方巻は、関西発の風習とされていますが、近年は全国でこの行事が親しまれています。恵方の方角は毎年変わりますが、古くから物の分類や順番を表すのに使われてきた十干（甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸）によってその年の方角が決まります。

甲・己（西暦の下1桁が4・9）  
東北東  
乙・庚（西暦の下1桁が5・0）  
西南西  
丙・戊・辛・癸（西暦の下1桁が1・3・6・8）  
南南東  
丁・壬（西暦の下1桁が7・2）  
北北西

今年（2024年）の下1桁が「4」ですので方角は東北東でしたが、来年（2025年）の下1桁が「5」になりますので西南西になります。

昭和30年代の節分は、道路をはじめ野畑や山々は雪化粧。近年暖房といえエアコン・電気・ガス・石油ストー

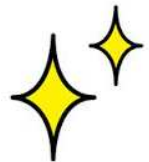
ブ等ありますが、その頃は積雪もかなり多く今より一段と厳しい寒さの中で、どこの家庭でも掘炬燵と火鉢のみで、今思えばよくも極寒の冬を過ごしたものだと思っています。

節分の夜には三三五五大勢の子ども達が神社に集まり、寒い中二つある大きな角火鉢に冷たい手を翳し「ワイワイ・ガヤガヤ・・・」参拝者がお参りされ豆をまかれるのを待っています。夜も更け最後の参拝者は、林自治会に居られた中村さん（中村文夫氏の母）です。あまり甘いものを口にできない時代にその当時では珍しく砂糖をまぶした豆と、これまた時々しか口にできない飴をまかれます。子ども達は皆中村さんが来られるのを今か今かと首を長くして楽しみに待っていたものです。近年は少子、高齢、過疎化により昔のような賑わいは無くなりましたが、過ぎ去ったその当時を懐かしく思い出す昨今です。



### 水上保育園

子どもたちの節分の様子です



### 農業委員に就任して

農業委員 武田廣司

農業委員任期満了に伴う改選があり、連合自治会の推薦をいただき候補者評価委員会、大田市市議会の同意等、所定の手続きを経て令和6年2月1日から3年間農業委員を務めることになりました。合わせて農業利用最適化推進委員に清野健也氏が選出されました。農業委員の役割は農地利用の最適化推進、農地法に基づく農地の売買・貸し借りの許可、農地転用案件への意見具申です。農地は農地法で守られていますがその原点は人間が生きるために一番必要な食料を確保すること。農地は自分の物で有りながら農地法で制約を受けます。

農業委員会では年に一度、農地利用状況調査を実施していますが地目は水田で有りながら現状は林野化した農地を多く見かけます。農地法で守られている農地、何か農地法の意義に違和感を覚えます。このような現状を解消す



る一助として最近、人・農地プランについて議論されますが人・農地プランとは地域が抱える人と農地の問題を計画的に解決する手法です。具体的には個人で管理できなくなった農地は地域で話し合い経営規模の拡大など意欲のある後継者に積極的に託す制度です。

農地を有効利用するため農業委員は農地量の集積化、遊休農地の発生防止など役割を求められています。が過疎地域では十分な活動ができないのが現状です。日本の食料自給率は37%と言われていています。しかもそれを支えている農家は中山間地域の零細な農家、労賃は年金から象徴される農家だそうです。最近の気象異変、各地で発生している紛争など我が国も無縁とは言えません。終戦直後は食料難が発生していましたが歴史は繰り返されます。地域の農地を誰が利用し、どのように維持・発展していくか幅広い意見を聞きながら農業委員として地域農業発展のため尽力したいと思えます。



## 二十歳を迎えて

椿 田邊結奈

今年、二十歳を迎えることができ生まれてから20年という時間が過ぎたのだと実感はあまりないのですが時間が過ぎるのは早いなと思えました。

まだ学生という身ですがこれからは成人としての責任と周囲の人や社会に貢献していきたいと思えます。

おめでとう  
ごぞいます



祝  
二十歳の集い





まちセン避難訓練をしました。  
みなさま火事には気を  
つけましょう。



俳句

あすなる句会

川上 岩田律枝

立春や心ほっこり村の朝  
紅梅の二、三輪咲く庭の先

井田 山田松三郎

寒鯉や池に鳥網張られたる  
肩すくめ新聞受けぬ寒の入り

上市 横田美恵子

露のとう香り漂う夕餼膳  
足もとに瑠璃色の花犬ふぐり

3月行事予定

大代地区社協よりお知らせ  
八反田 竹間真一 様より  
香典返しにかえ御厚志を頂きました。  
厚く御礼申し上げます。



- ▼ 1日 (金) 邇摩・大田高校卒業式
- ▼ 9日 (土) 第一・第三中学校卒業式
- ▼ 15日 (金) 高山小学校卒業式
- ▼ 22日 (金) 連合自治会

3月3日福祉弁当の日です

えびすの会

▼ 7日・14日・21日・28日 (木)

13時30分〜15時30分

※行事は延期・中止になる場合があります。

